

当社記事が掲載されました

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

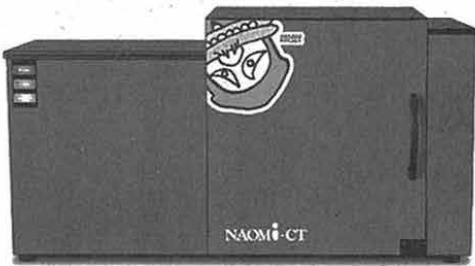
1月8日火曜日

2019年(平成31年)

撮影領域を大幅拡大

産業用X線CT アールエフが今春

【長野】アールエフ(長野市、丸山次郎社長、026・225・7733)は、撮影する被写体・領域のサイズを大幅に拡大した産業用X線CT(コンピューター断層撮影装置)を商品化する。被写体サイズは従来製品に比べ体積で2倍、1回に撮影可能な領域は同約5倍。価格は380万円(消費税抜き)。今春の発売予定で、先行予約の受け付けを始めた。大サイズの被写体も手軽に撮影したいという要望に応える。



製品化する「NAOMi-CT 002L」

製品化する「NAOMi-CT 002L」は、幅788ミリ×高さ394ミリ。装置は奥行402・4ミリ×

イズは直径300ミリ、高さ320ミリ。実際に画像が取得できる撮影エリアは広範囲モードで直径240ミリ×高さ125ミリ×175ミリ。撮影から画像表示まで1枚の撮影にかかる時間は約2分。100万円(マイクロは100万分の1)単位で計測できる。X線作業主任者の資格は不要。3次元(3D)によ

る非破壊検査は幅広がり、切断して対応した業種にニーズが広がっている。一方、1回の撮影ではエリアに収まりきらない対象物の場合、2回に分けて撮影した非破壊検査は幅広がり、切断して対応した業種にニーズが広がっている。一方、1回の撮影ではエリアに収まりきらない対象物の場合、2回に分けて撮影した

り、切断して対応した業種にニーズが広がっている。一方、1回の撮影ではエリアに収まりきらない対象物の場合、2回に分けて撮影した

Tを280万円で製品化して車・食品メーカーなどに納入実績がある。さらに18年には2D画像による90万円のX線撮影装置を製品化した。